



農業知識広場

農へのこだわり

〜知っててよかった〜

中尾道則 指導員



暑さに注意し、給水を怠らず、無理をしないで農作業をしてください。秋作の計画は早めに立てましょう。

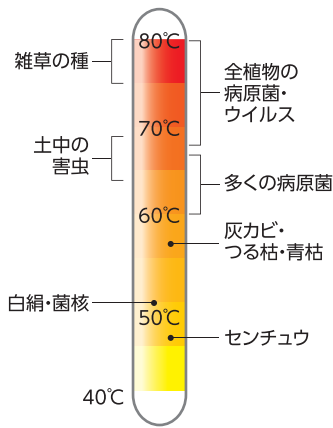
『太陽熱土壌消毒』

土壌消毒は、土壌病原菌や土壌センチュウの防除と雑草の抑制を目的に行います。薬剤による方法と熱による方法がありますが、ここでは夏季の栽培休閑期に太陽熱を有効に取り入れて、土壌消毒を行う太陽熱土壌消毒について説明します。

●土壌中の生物の死滅温度

一般に作物病原菌はある一定の温度になると死滅します。その温度は別図のとおりですが、60℃でほとんど死滅します。

土壌中の生物の死滅温度



●作業手順と処理期間

①数日前に灌水し、土壌水分を高くしておきます。

②切わらを1a当り100〜200kgを散布します。また、切わらの代わりに、もみ殻50〜100kgかバーク堆肥400〜500kg又は牛ふん堆肥100〜200kgで代用することも可能です。

③わらの上に軽く灌水します。

④有機物の分解と殺菌・殺草効果を兼ねて石灰窒素を1a当り10kg散布し圃場全体をすき込みます。

⑤畝たてを行い、土の表面積を大きくし、太陽熱が地層に伝わりやすくします。

⑥地表面をビニールで被覆します。

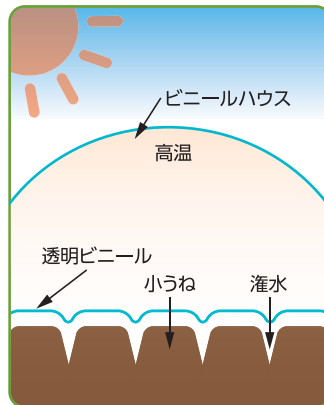
⑦畝間に灌水します。土壌水分は消毒効果を高めるために最大容量の60%を必要とします。被覆後、畝の肩まで灌水し、自然落水とします。

⑧ハウスの場合は以上の処理後密閉します。

主な適用病害虫と処理期間

場所	適要病害虫	処理期間	効果の低い病害虫
ビニールハウス	苗立枯病 ホウレンソウ株腐病 ホウレンソウ萎黄病 キュウリつる割病 ナス科半身萎ちょう病 白絹病 キスジノミハムシ コガネムシ幼虫 植物寄生線虫 など	20〜30日	トマト青枯病 トマト萎ちょう病 トマト軟腐病 ナス青枯病 など
路地	苗立枯病 ホウレンソウ株腐病 ホウレンソウ萎黄病 植物寄生線虫 など	30〜50日	ダイコン萎黄病 キュウリつる割病 など

太陽熱消毒法



今月の農作業

ナス…樹に勢いがなくなってきたら、思い切って更新剪定を行い、株の若返りをはかりましょう。

キャベツ・ブロッコリー…7月下旬から8月上旬が南部地帯の播種適期です。遮光資材を活用し、良い苗を育てましょう。

ハクサイ…中北部地域では8月中旬には播種をしましょう。

ニンジン…播種の時期です。覆土は浅くし、遮光資材や敷わらで日よけを行い、乾燥に注意しましょう。

この時期に注意する害虫…ネキリムシ・ヨトウムシ・キスジノミハムシ・クイムシなどに注意してください。使用する作物に登録があるかを確認し、左記の農薬を使い分けてください。



フォース粒剤 土壌混和



ジェイエース 植穴処理粒剤